

Q&A

Q 先日外来受診及び入院していたが感染の可能性がないか心配。

A 現在コロナ PCR 陽性となった職員の濃厚接触者については、すでに特定し対応しております。今後濃厚接触が疑われる方には、保健所より連絡があります。接触後症状がでる目安は最長2週間といわれておりますが、症状等の詳細に関しましては厚生労働省のHPをご覧ください。その他ご心配な点は、横浜市新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センターへお問い合わせください。

※横浜市新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センター：

TEL：045-664-7761 9：00～21：00（土・日・祝も可）

Q 外来通院しているが、休診中の診察や定期で服用している薬が無くなりそうになった場合はどうすればよいか。

A 現在救急患者の受け入れ中止、外来診療は休診とさせていただいております。感染の拡大が見られず、患者様が安全・安心に当院におかかりいただける体制が整いましたら、HP等でご案内させていただきます。

定期処方が必要な患者様には、電話診療などの対応を行っておりますので、予約センターまでご連絡下さい。

※予約センター：045-402-7015（月～土 8:30～17:30）

Q 発熱・倦怠感が発生した場合、貴院でPCR検査は可能か。

A 当院ではPCR検査は行っておりません。横浜市の新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センターへお問い合わせください。

Q 新型コロナウイルス感染症および疑いがある患者にどのような感染防止対策をしていたのか。

A 当院では昨年10月のインフルエンザの流行期の頃から、全ての職員が常時マスクを着用し、手指消毒等の所謂標準予防策の実施、更に面会制限、施設内については毎日清掃・アルコール消毒を施行してまいりました。また、職員については勤務前の健康チェック、体温測定を行うなど新型コロナウイルスに対する厳戒体制を続けてまいりました。

新型コロナウイルス感染症および疑いがある場合は、患者様を隔離したうえ、他の患者様への感染防止対策を講じております。また患者様への医療・ケアを行う際は、標準感染予防策（マスク・エプロン・グローブ）に加え、N95マスクおよびフェイスシールドを着用したうえ治療にあたっております。

Q 感染拡大を防止するために、どのような対策をとっているのか。

A 横浜市、管轄の福祉保健センターと連携を図り、感染経路の調査や感染拡大防止に努めております。現在、全ての外来・入院の受け入れを中止しております。

Q 面会時における感染の可能性はないのか。

A 現在、原則面会禁止とさせていただいております。ご家族様にはご心配、ご迷惑をおかけしますが、感染拡大防止のためには面会をご遠慮いただけますようお願いいたします。面会禁止が解除される場合は、HP 等でご案内させていただきます。

Q 入院患者様の洗濯物は、自宅に持ち帰っても大丈夫でしょうか。

A 新型コロナウイルス感染症は下痢がみられることがあり、糞便から検出されることがあります。体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う場合は手袋、マスクを使用し、一般的な家庭用洗剤を使用した洗濯機を使用して洗濯し完全に乾かして下さい。

Q 他の病院へ転医したいのですが。

A ご希望であれば診療情報提供書をご準備させていただきます。入院中の患者様に関しましては病状判断も必要となりますので主治医、医療相談窓口にお問い合わせください。